

I-3:研究広報

開催日時・会場 9月15日(水曜日) 13:50-15:20 中会議室202(2階)

コロナ下のPR手法とブランド構築

長引くコロナ下で、各大学・機関では、SNS活用やオンラインイベントのノウハウの蓄積が進んでいるようです。これまで現場に來られなかった科学ファンを取り込む効用が見えてきたと同時に、対面の交流、双方向性の重要性を実感している担当者も多いのではないかと思います。

本セッション前半では、KEK広報担当・高橋URAが、大規模な実験施設を有する研究所におけるコロナ下の科学広報の取組事例を「加速器だから見える世界。」と題し、昨年初めてオンラインで実施した一般公開の各種プログラム等を紹介します。

(創立50周年記念「KEK一般公開2021」は、9/4(土)と9/5(日)の2日間、KEKのYouTubeチャンネルにて、ライブ配信予定、ぜひ視聴下さい。)続いて、PRの目的、対象が異なる公的研究機関、PR会社からゲスト登壇者を迎え、その実践について語っていただきます。小林氏は、「JAXAの12倍見られてる!若者が人生を変えるNIMS広報の全貌」をテーマに、フォロワーを激増させた動画による広報戦略について紹介します。山田氏は、「企業のコミュニケーション戦略とブランディング推進」をテーマに、日本PRアワードグランプリを受賞したダイキン工業の取組について、紹介します。セッション後半は、元朝日新聞科学記者・勝田氏をファシリテーターに迎え、登壇者から提起された問題点、参加者から寄せられた質問を取り上げ、登壇者とコロナ下のPR手法とブランド構築について議論を行います。

セッション全体として、各大学機関の広報担当者だけでなく、研究・教育者、科学振興に関わるすべての人にとって、PRの基本である「科学コミュニケーション」「科学広報のゴール」について考えるきっかけ、新しい知見が得られる企画にしたいと考えています。

多くのみなさまのご参加をお待ちしています。

オーガナイザー

高エネルギー加速器研究機構(KEK)・URA

磯部百合香:研究支援戦略推進部

研究力強化事業の事務局のほかダイバーシティ推進の観点から、ワークライフバランス推進のための企画、提案を担当。

吉成喜久代:研究支援企画室

研究力強化事業の広報として、ウェブサイトやポスターなど広報資料の作成やイベント等の企画支援を担当。

菊池まこ:研究支援戦略推進部

国際リニアコライダー(ILC)計画推進のための国内外の会議や国際ワークショップなどの事務局運営などを担当。



講演者



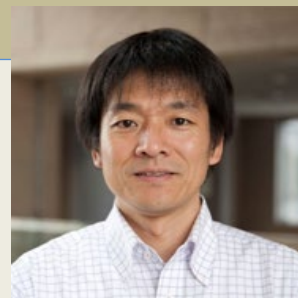
**高橋 将太:高エネルギー加速器研究機構(KEK)・
広報室・科学コミュニケーターURA**

2014年にKEKで科学コミュニケーターとして活動開始。2015年末、つくば駅前で科学を語らう場「KEKサイエンスカフェ」を立ち上げる。中高生が半数を占める他に類を見ないサイエンス・カフェとなる。2017年、つくば科学教育マイスターに認定。2018年から「科学技術広報研究会(JACST)」の事務局幹事長。「基礎科学」の面白さと大切さを伝えるため次世代への育成を促進している。



**勝田 敏彦:高エネルギー加速器研究機構(KEK)・
IR推進室・特別技術専門職(元朝日新聞記者)**

1989年、朝日新聞社入社、週刊朝日編集部、東京・大阪の旧科学部、米CNN派遣、アメリカ総局員、「メディアラボ」室長補佐、ソーシャルメディアエディター、科学医療部次長等を歴任。2021年7月より現職。科学記者としての経験を活かし、KEKの新しい広報のあり方を考えている。著書に『でたらめの科学 サイコロから量子コンピューターまで』（朝日新書）。



**小林 隆司:物質・材料研究機構(NIMS)・経営企画部門
広報室・室長**

元NHKディレクター、「ためしてガッテン」「サイエンスZERO」などの科学番組中心に18年間番組を制作。2015年より現職、2021年NIMSマイスターに就任。2017年文部科学大臣表彰。科学技術賞理解増進部門賞。2018年より産業技術総合研究所広報部審議役兼務。YouTube登録者17万人超え、イベント集客4年間で9倍増、6年連続最多記録更新中。難解な材料研究の世界に多くの若者を惹き付けている。



**山田 まさる:株式会社コムデックス・代表取締役社長
株式会社インテグレート・顧問**

2007年統合型マーケティングを実践する日本初のプランニングブティックとして株式会社インテグレートを設立、COOに就任。翌年コムデックス代表取締役社長に就任。「魚鱗癬」啓発活動にて2008年日本PRアワードグランプリ・日常広報部門最優秀賞受賞。2020年にも「“上手な換気の方法”を伝えたい!『空気で答えを出す会社』の底力」(ダイキン工業株式会社)で日本PRアワードグランプリを受賞。